

# 令和3(2021)年度の労働相談状況について

令和4(2022)年10月7日  
栃木県産業労働観光部労働政策課

県では、県内4か所の労政事務所及び労働政策課において、労働条件や職場における人間関係など労働問題全般にわたる幅広い相談に応じています。

令和3(2021)年度の労働相談状況を取りまとめた結果は以下のとおりです。

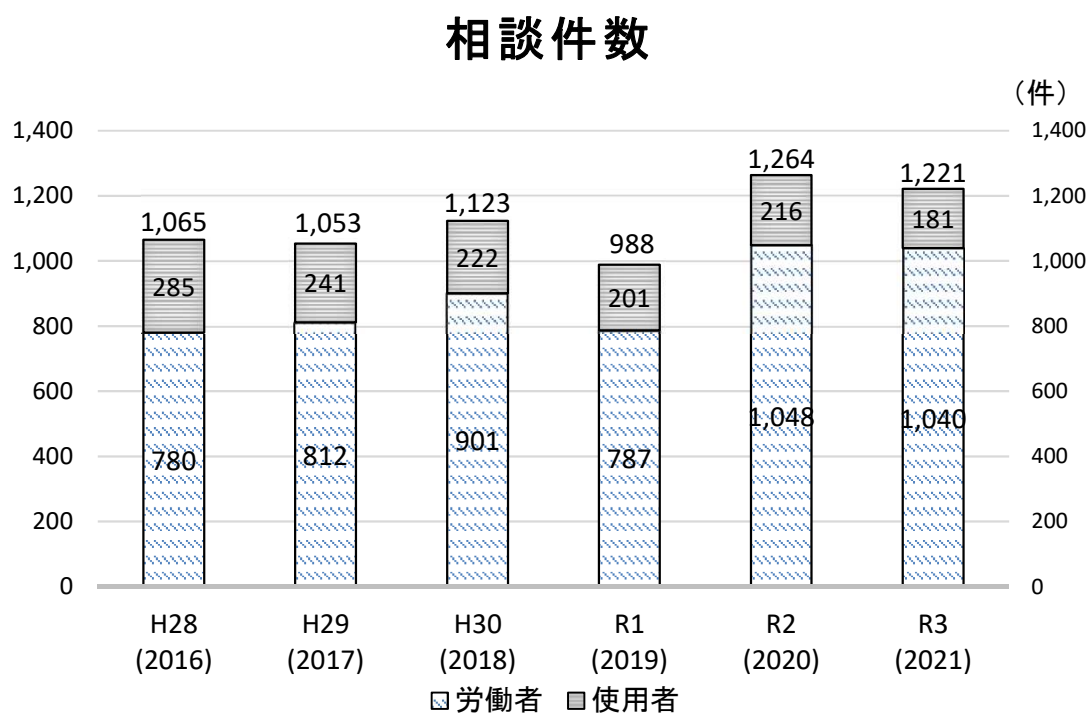
## 1 労働相談件数

令和3(2021)年度の労働相談件数は1,221件で、前年度と比べると43件(▲3.4%)の減であった。

図-1 (件)

年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
労働者	780	812	901	787	1,048	1,040
(構成比)	73.2%	77.1%	80.2%	79.7%	82.9%	85.2%
(対前年度比)	128.7%	104.1%	111.0%	87.3%	133.2%	99.2%
使用者	285	241	222	201	216	181
(構成比)	26.8%	22.9%	19.8%	20.3%	17.1%	14.8%
(対前年度比)	82.4%	84.6%	92.1%	90.5%	107.5%	83.8%
計	1,065	1,053	1,123	988	1,264	1,221
(対前年度比)	111.9%	98.9%	106.6%	88.0%	127.9%	96.6%

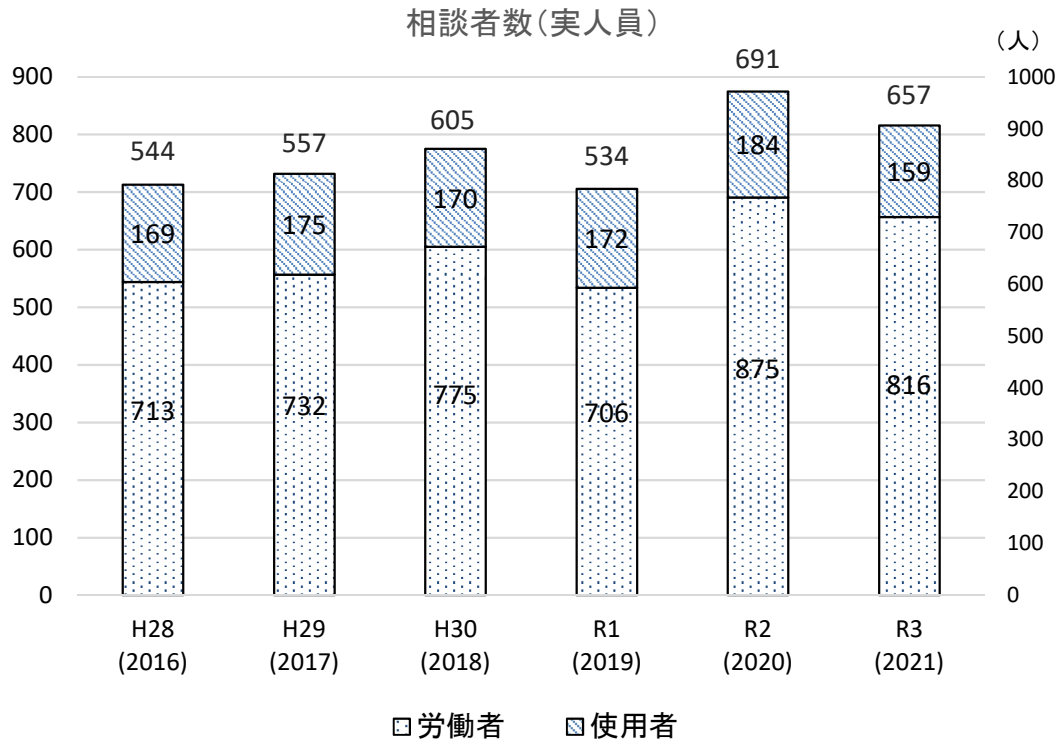
図-2



## 2 労働相談者数

令和3(2021)年度の労働相談者数は816人と、前年度の875人に対して59人(▲6.7%)の減となった。そのうち、労働者からの相談が657人で、前年度の691人に対して34人(▲4.9%)の減であった。使用者からの相談は159人で、前年度の184人に対して25人(▲13.6%)の減であった。

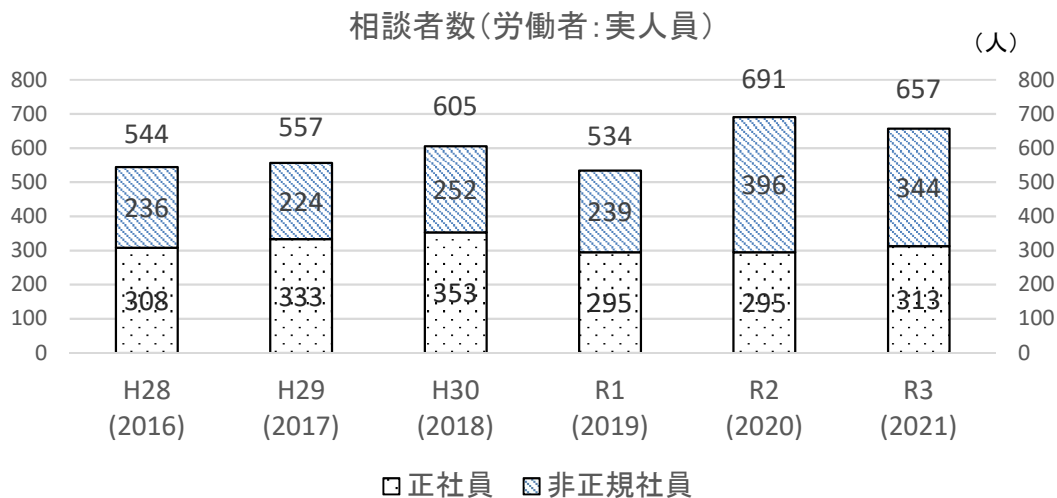
図-3



令和3(2021)年度の労働者からの相談のうち、正社員からの相談は313件であり、前年度の295人に対して18件(6.1%)増加した。

一方、非正規社員からの相談は、344件であり、前年度の396人に対して52件(▲13.1%)減少した。

図-4



### 3 相談内容別件数(労働者)

労働者からの相談(1,040件)は、「労働条件」に関するものが59.0%と最も多く、次いで、パワハラ・いじめなどの「人間関係」となった。

「労働条件」の内訳では、「労働時間等」が31.4%と最も多く、次いで、「賃金」、「解雇等」、「退職金」の順であった。

図-5

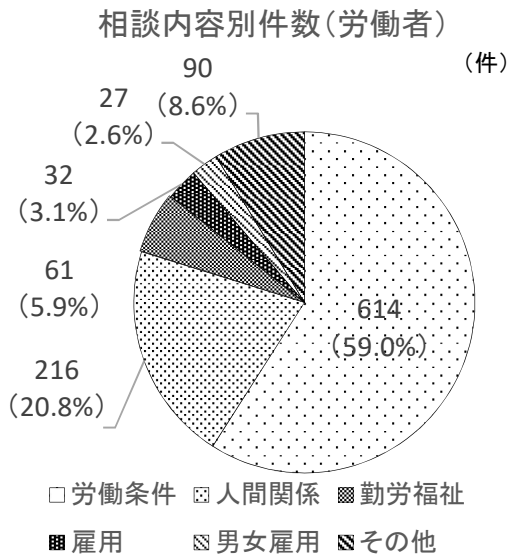


図-6

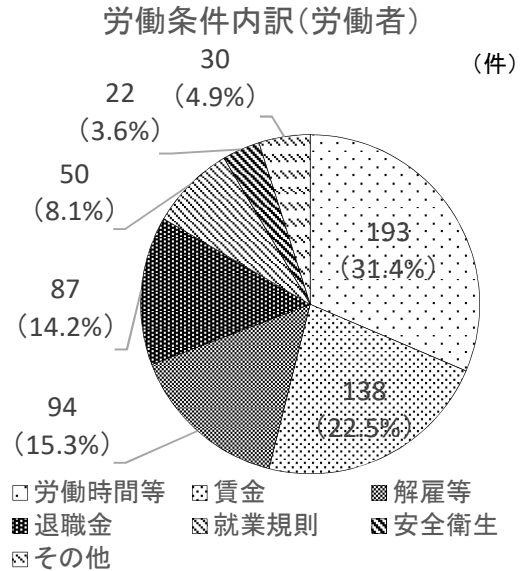


図-7

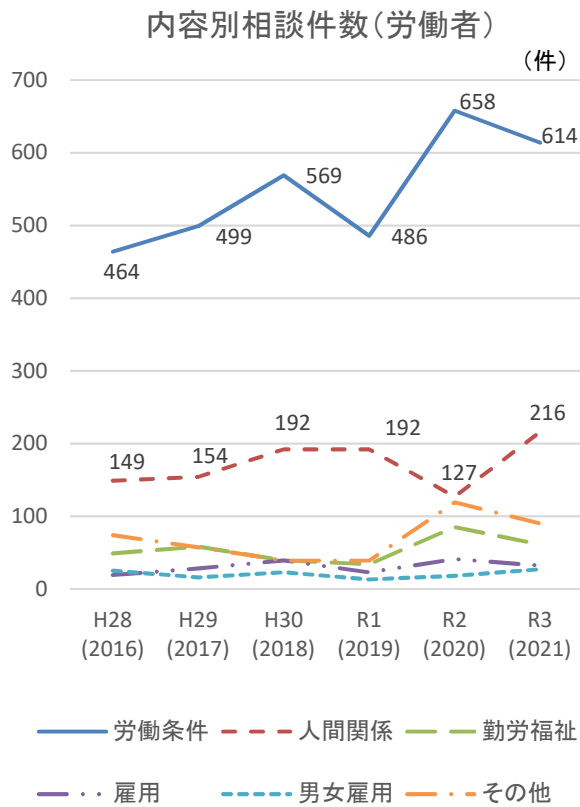
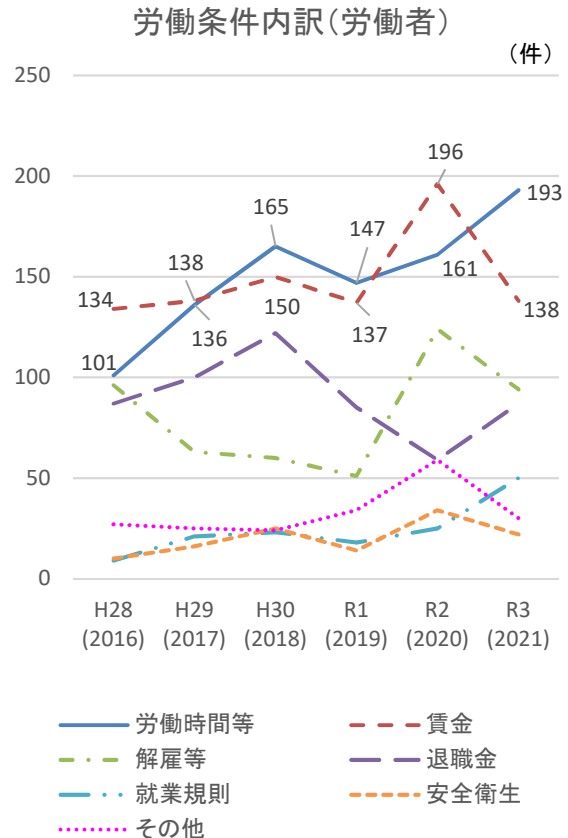


図-8



## 4 相談内容別件数(使用者)

使用者からの相談(181件)は、「労働条件」に関するものが83.4%と最も多く、その内訳では、「労働時間等」の相談が85.4%であった。

図-9

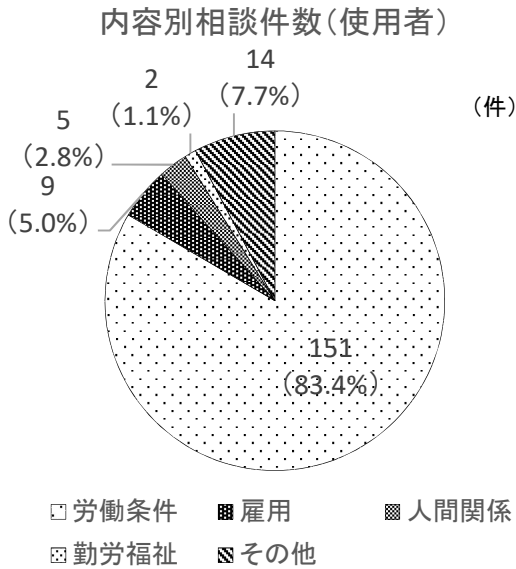


図-10

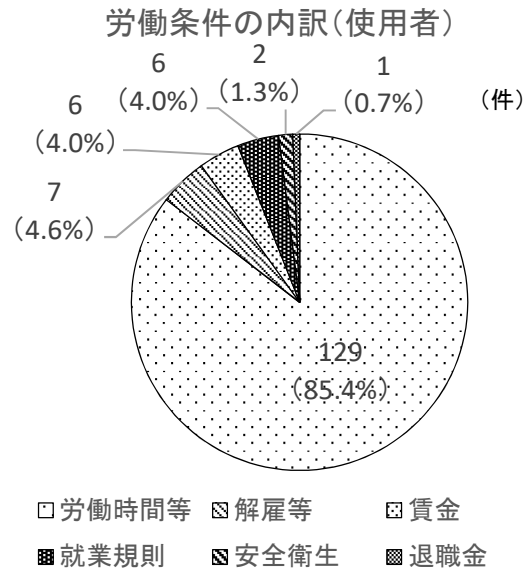


図-11

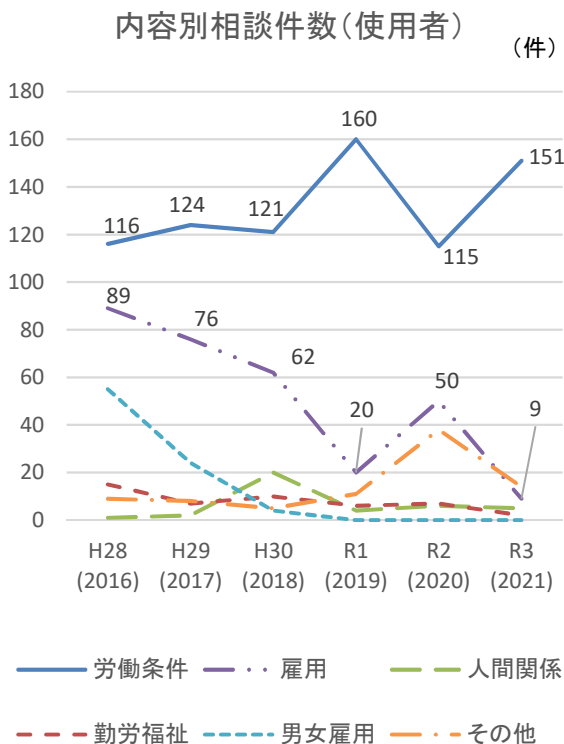


図-12

